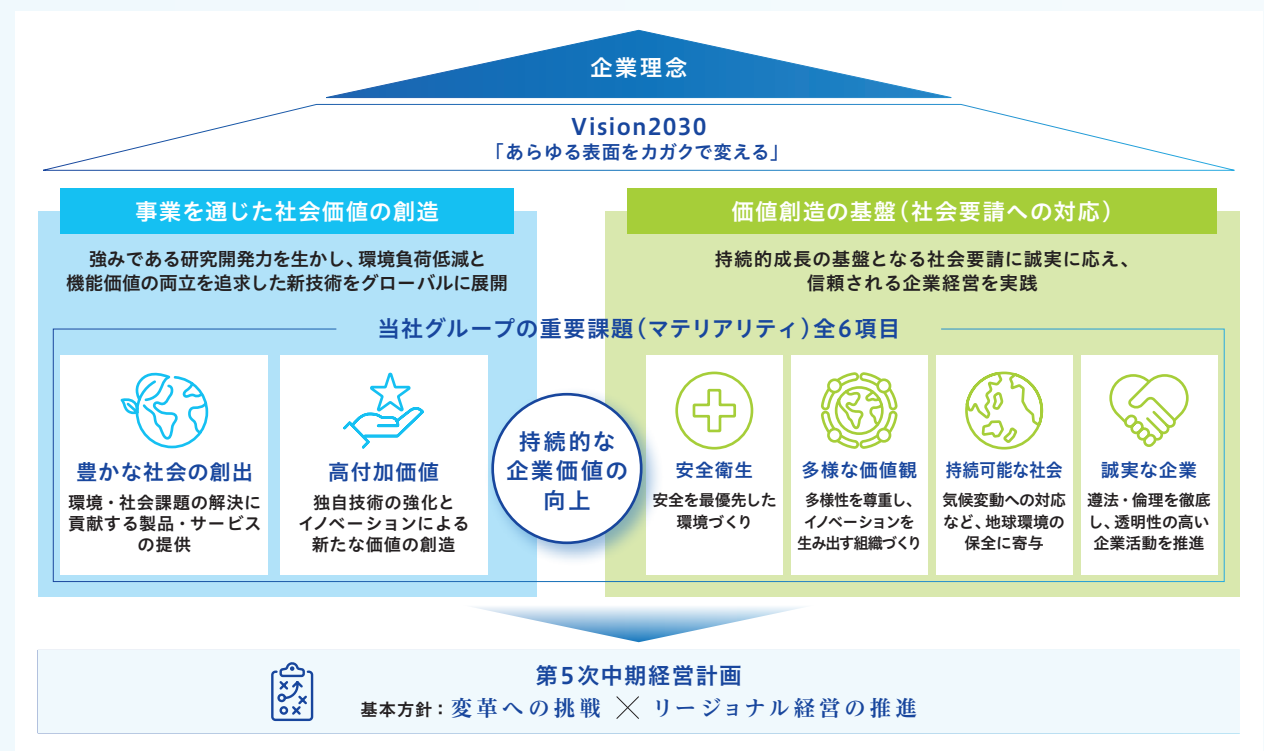


重要課題（マテリアリティ）とその特定

価値創造と 重要課題の考え方

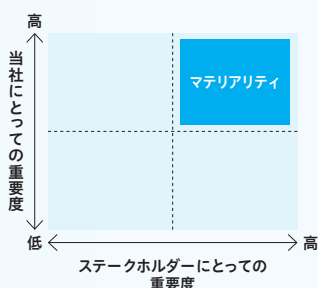
当社グループは、「Vision2030」が掲げる「あらゆる表面をカガクで変える」および第5次中期経営計画の基本方針である「変革への挑戦」「リージョナル経営の推進」のもと、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指しています。特に、当社の強みである研究開発力を生かし、環境負荷低減と機能価値の両立を追求した新技術をグローバルに社会実装していくことで、地球規模の課題解決に貢献していきます。不確実性の高い事業環境を見据えると、今後は、新領域への挑戦による「新たな価値の創出」と、持続的成長を支える「強固な経営基盤の構築」が不可欠となります。

当社グループでは、これらを反映した「事業を通じた社会価値の創造」と、持続的成長の基盤となる「社会要請への対応」を軸に、私たちが優先的に取り組むべき6つの重要課題（マテリアリティ）を特定しています。



重要課題 （マテリアリティ）の 特定プロセス

重要課題の特定にあたっては、顕在化している顧客ニーズや社会要請への対応にとどまらず、不確実性の高い将来の事業環境を見据え、社会課題や技術動向を起点として当社から新たな価値を創出していく視点も踏まえ、「事業を通じた社会価値の創造」と、持続的成長の基盤となる「社会要請への対応」について、下の3ステップで客観的かつ網羅的に優先順位を評価・決定しました。



Step 1 社会課題の把握

SDGsやISO26000等の国際規格に基づき、自社に関連する課題を網羅的に抽出

Step 2 課題の抽出と評価

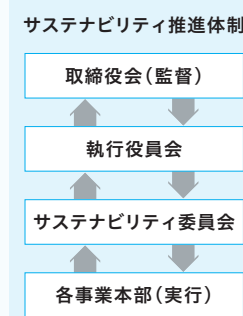
「ステークホルダーにとっての重要性」と「当社にとっての重要性」の2軸で優先度を判定

Step 3 重要課題の特定

経営層による審議と有識者との対話を経て、取締役会で最終決定

サステナビリティ 推進体制と 2025年度の実績

代表取締役社長執行役員を委員長とする「サステナビリティ委員会」を年4回開催しています。本委員会では、重要課題およびそのKPIの策定・見直し、TCFDのシナリオ分析に基づく気候変動への対応策などを審議し、その内容は執行役員会および取締役会へ年1回以上報告され、適切な監督を受けています。



2025年度主な討議内容



2025年度の委員会では、以下の事項について討議が行われました。

- 気候変動対応：Scope1・2・3を含めた温室効果ガス排出量の把握と情報開示拡大
- 製品使用による環境貢献の定量化（Scope4）
- 水資源の保全：水リスク地域における節水・リサイクル推進
- カーボンニュートラルに向けた新たなCO₂削減目標の設定
- 女性管理職比率の目標設定